

自然言語処理 —準備、Pythonリスト処理—

<https://github.com/satoyoshiharu/nlp>

予備知識

- Pythonのリストは、ほかの言語でいえば、配列のようなもの。Pythonは多次元リストデータを扱うことが得意というのが特徴なので、ビッグデータ処理やニューラルネットに活用される。
- Pythonは、パッケージライブラリが豊富というのが、別の特徴。パッケージはマニュアルを見ながら、使うものです。この課題集では、パッケージを使う以前の、Pythonの裸のデータ処理機能を扱っています。ここに慣れれば、あとが楽になります。
- インターネットにたくさんいい資料が載っているので、独自のスライド・動画はありません。以下によさげな資料をご紹介します。
- また、個々の言語機能に関し、課題のノートブックに、講師がよかったと思ったページのリンクをもろもろ張っておきます。

Python入門

- もしも、Pythonについて授業をとったことがない、初めてならば、以下などをざっとやるといいです。
 - [ゼロからのPython入門講座](#)
 - [Python入門](#)
 - いまにゆのプログラミング塾：YouTube動画
 - [【完全版】この動画1本でPythonの基礎を習得！忙しい人のための速習コース（Python入門）](#)
など
- すでに、Pythonの授業をとっている方ならば、言語機能は比較的相互依存性はないので、まず個々の課題に取り組んでみて難しいと感じたら（これ、わかってないなという発見は大進歩）、以下の関連個所を部分的につまみ食いして補強する、というやり方をお勧めします。
 - [Python ゼロからはじめるプログラミング](#)
 - [Pythonプログラミング入門](#)、[ノートブック](#)、[PDF](#)

課題00～09

- [「100本ノック」の第1章の課題00～09](#)を解いてみましょう。
- 「NLP準備、Pythonリスト処理.ipynb」というノートをコピーし、各課題のセクション下のコードセルに解答コードを書き、実行ログを残してください。
- ネットに解答集がいくつか見つけられます。講師の解答案も、提供しておきます。力をつけるため、なるべくそれらを見ないで自力でやってから、見てください。解答をコピーするのでは、力は少しもつかず、やった感を作るだけの、時間の無駄です。一方、考えながら、書くために必要なことを調べるのが、成長につながる大切な時間となります。
- ただし、ある課題に5分取り組んでも指が動かなかったら、解答例を見てしまってください。それで、コードの意味が取れば、先に進んでください。

あくまで自分の目標とペースで

- 学習目標を、自分で、立ててから進めます。目標があるのとないのとで、脳の働きが大違いです。
- 学習は、腑に落ちてナンボです。焦らず、無理せず、自分のペースで、理解できたことを一つ一つ積み上げてください。

自分に向いたやり方？

- 勉強の仕方は、人により、向き・不向きがあります。課題集に取り組んでみて、時間がかかるようならば、今のやり方とは違うやり方をいろいろ試し、自分に向いたやり方を見つけてください。
 - 読むだけでなく、視聴覚教材(YouTube)で、**耳からの刺激**も利用する。
 - 基本的な題材を、指を使いながらHands-Onで試していく教材を見つけ、**指からの刺激**を使いつつ、抽象的な構文規則を**具体的なサンプル**で見えていく。
 - 同じ教材を、2度、3度とやる。
 - ……

確認クイズ

- Python_リスト処理_確認クイズ.ipynb で力を試してください。出力を指定しているので、それが出力できればOKです。